



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場会社名 クニミネ工業株式会社

コード番号 5388 URL <http://www.kunimine.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 國峯 保彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営戦略部長

(氏名) 川島 利昭

TEL 03-3866-7255

四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	8,799	0.6	946	0.9	1,062	△8.8	694	△2.8
27年3月期第3四半期	8,742	2.3	938	△1.4	1,165	3.3	715	5.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 644百万円 (△29.9%) 27年3月期第3四半期 918百万円 (5.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	51.91	—
27年3月期第3四半期	58.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年3月期第3四半期	17,645		14,456		80.6
27年3月期	17,537		14,214		79.8

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 14,230百万円 27年3月期 14,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
27年3月期	—	0.00	—	30.00	円 銭	30.00
28年3月期	—	0.00	—			
28年3月期(予想)				15.00		15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 上場市場変更記念配当 15円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,812	6.4	1,543	12.1	1,685	3.7	1,057	5.6	78.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	14,450,000 株	27年3月期	14,450,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	1,061,577 株	27年3月期	1,061,495 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	13,388,464 株	27年3月期3Q	12,239,307 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）	P 1
2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
3. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 2
4. 四半期連結財務諸表	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(セグメント情報等)	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、日銀が量的質的金融緩和の拡大の現状維持を続けているものの新興国経済の減速や在庫調整の進展などで景気は一進一退が続いており、個人消費は名目賃金の上昇や物価上昇率の低下による実質所得押し上げなどから持ち直しているものの、そのペースは緩やかにとどまっています。

このような状況下、当社グループにおきましては、主要納入先のうち、鋳物業界は、自動車の国内生産台数は減少が続いており、土木建築業界は、新設住宅着工戸数に持ち直しが見られ、全体としては堅調に推移いたしました。

このような背景のもと、当社グループは、これまでの海外展開への取り組みや震災復興需要関連の取り組み、郡山工場と小名浜工場のシナジー効果の発揮を継続して推進するとともに、電力料金の値上げや円安基調に伴う原材料価格の上昇に対して原価の上昇を最小限に抑える取り組みに注力し、売上高および収益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、主力のベントナイト事業部門の増収や採算性の高い化成品事業部門の好調により、アグリ事業部門の減収を補い、売上高は87億99百万円（前年同期比 0.6%増）、営業利益は9億46百万円（同 0.9%増）となりました。経常利益は為替差益が前期の1億32百万円から当期は1億31百万円減少したこと等により10億62百万円（同 8.8%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億94百万円（同 2.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ベントナイト事業

鋳物関係は、商用車をはじめとする自動車国内生産台数が減少したもののタイ国での売上が寄与し、ほぼ横這いとなりました。土木建築関係は、止水材が増加したものの一般民間工事や地熱ボーリングの低調を補うに至らず減収となりました。ペット関係は、消費税率引き上げ後の反動減からの回復や新規納入先の取り組みなどにより取扱量が増加し、増収となりました。しかしながら、円安による原材料高や輸送コスト高の影響により減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は62億50百万円（前年同期比 2.4%増）、セグメント利益は7億67百万円（同 5.4%減）となりました。

② アグリ事業

農薬受託加工において、殺虫殺菌剤がほぼ横這いで推移しましたが、業界全体における水稲用除草剤の在庫調整があり、除草剤が低調に推移し減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は17億51百万円（同 7.9%減）、セグメント利益は3億49百万円（同 5.3%減）となりました。

③ 化成品事業

ファインケミカルのうちクニピアは主に一般工業用途にて採算性を得るために価格改定をしたことや吸着用輸出向けで大幅に増加し増収となり、環境保全処理剤の使用量引き締めによる減収を補い全体として増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は7億97百万円（同 8.4%増）、セグメント利益は1億15百万円（同 131.3%増）となりました。

2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は堅調に推移しており、主力のベントナイト事業部門において売上が増加しておりますが、円安が原材料価格や燃料費等原価を圧迫し始める等、当社グループを取りまく環境は引き続き厳しいものが継続すると考えられ、前回発表（平成27年5月8日）の業績予想の変更はありません。

3. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

② ①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

③ 会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

④ 修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,539,604	4,643,859
受取手形及び売掛金	3,691,254	3,945,550
有価証券	238,376	239,273
商品及び製品	321,265	385,599
仕掛品	213,460	296,701
原材料及び貯蔵品	1,148,207	1,608,161
その他	168,083	101,359
貸倒引当金	△1,701	△797
流動資産合計	11,318,551	11,219,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,374,769	1,492,781
機械装置及び運搬具(純額)	1,005,968	1,072,265
土地	1,780,254	1,780,254
リース資産(純額)	55,970	39,697
その他(純額)	84,701	98,888
有形固定資産合計	4,301,664	4,483,887
無形固定資産	130,126	134,811
投資その他の資産	1,787,450	1,806,653
固定資産合計	6,219,242	6,425,352
資産合計	17,537,794	17,645,060
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,011,449	801,081
短期借入金	—	150,000
未払法人税等	401,798	166,203
賞与引当金	137,004	68,398
その他	695,910	945,761
流動負債合計	2,246,163	2,131,444
固定負債		
退職給付に係る負債	11,736	10,073
閉山費用引当金	490,098	494,052
環境対策引当金	490	—
資産除去債務	23,494	23,494
その他	551,267	529,139
固定負債合計	1,077,087	1,056,760
負債合計	3,323,250	3,188,205

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	2,794,107	2,794,107
利益剰余金	9,265,729	9,559,062
自己株式	△253,223	△253,286
株主資本合計	13,424,412	13,717,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	464,990	444,718
繰延ヘッジ損益	34,345	△4,829
為替換算調整勘定	77,235	73,131
その他の包括利益累計額合計	576,571	513,020
非支配株主持分	213,559	226,150
純資産合計	14,214,543	14,456,854
負債純資産合計	17,537,794	17,645,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	8,742,883	8,799,326
売上原価	5,944,782	5,942,598
売上総利益	2,798,101	2,856,727
販売費及び一般管理費	1,859,854	1,910,498
営業利益	938,246	946,229
営業外収益		
受取利息	777	936
受取配当金	82,708	96,957
為替差益	132,242	248
貸倒引当金戻入額	87	990
その他	17,738	24,228
営業外収益合計	233,554	123,361
営業外費用		
支払利息	2,835	2,303
コミットメントフィー	2,211	2,214
その他	1,213	2,122
営業外費用合計	6,260	6,640
経常利益	1,165,540	1,062,950
特別利益		
固定資産売却益	249	2,771
特別利益合計	249	2,771
特別損失		
固定資産除却損	19,563	8,261
特別損失合計	19,563	8,261
税金等調整前四半期純利益	1,146,227	1,057,461
法人税、住民税及び事業税	368,300	309,868
法人税等調整額	51,671	38,899
法人税等合計	419,972	348,767
四半期純利益	726,255	708,693
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,103	13,704
親会社株主に帰属する四半期純利益	715,151	694,988

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	726,255	708,693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	133,701	△20,271
繰延ヘッジ損益	34,618	△39,174
為替換算調整勘定	24,225	△5,218
その他の包括利益合計	192,545	△64,664
四半期包括利益	918,801	644,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	900,776	631,438
非支配株主に係る四半期包括利益	18,025	12,590

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
減価償却費	405,020千円	376,745千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ベントナイト 事業	アグリ 事業	化成品 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,105,387	1,901,678	735,818	8,742,883	—	8,742,883
セグメント間の内部売上 高又は振替高	50,546	—	61,082	111,629	(111,629)	—
計	6,155,933	1,901,678	796,901	8,854,512	(111,629)	8,742,883
セグメント利益	811,214	369,591	49,770	1,230,575	(292,329)	938,246

(注) 1. セグメント利益の調整額△ 292,329千円には、セグメント間取引消去△ 442千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△ 335,440千円及び棚卸資産の調整額 43,553千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ベントナイト 事業	アグリ 事業	化成品 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,250,482	1,751,143	797,700	8,799,326	—	8,799,326
セグメント間の内部売上 高又は振替高	50,032	—	47,570	97,603	(97,603)	—
計	6,300,515	1,751,143	845,270	8,896,929	(97,603)	8,799,326
セグメント利益	767,079	349,841	115,123	1,232,044	(285,815)	946,229

(注) 1. セグメント利益の調整額△ 285,815千円には、セグメント間取引消去 1,265千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△ 331,355千円及び棚卸資産の調整額 44,275千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。